

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295100131		
法人名	株式会社ケアクオリティ		
事業所名	シェリー		
所在地	焼津市新田856-1		
自己評価作成日	令和3年 9月 1日	評価結果市町村受理日	令和3年 12月 15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人静岡県介護福祉士会
所在地	静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
訪問調査日	令和3年 11月 17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々に合った個別支援を提供できるように努めています。利用者様の持っている力を引出し活用できる自立支援にも心掛けています。食事についても利用者様一人一人に見合った形態での対応を行い出来たての温かいお食事を提供しております。ホーム独自の畑もあり採りたての野菜を使った料理や利用者様のお好みを確認してその日のメニューを考えお出しする事もあります。ご家族とのコミュニケーションを大切に電話や毎月の状況報告書の郵送など連絡がとれる様に努めています。ご家族が気軽に職員に話し掛けられるような雰囲気づくりに心掛けています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所のまわりには田んぼや民家があり、自然に恵まれた環境である。近隣の住民の協力を得て地域の中での暮らしを心がけている。例えば野菜などの差し入れ、草刈りのボランティア、消毒活動などの支援を頂き、さらに地域の行事には敷地を駐車場として提供している。このように人々との関わりを大事にしている。重度化や終末期に向けた支援をし、ご家族との意思確認を行い協力医、ご家族、職員が常に情報交換を行っている。職員は「みどり小会議」を頻繁に行い共有をしている。管理者を中心に、利用者へ寄り添う援助ができるように職員間で研修をしている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の経営理念とホームの運営理念・目標を朝の申し送りや日々復唱する事により共有し実践に繋げるようにしています	ホームの理念である5項目は事務所に掲示してある。職員は毎朝唱和して理念の内容を共有、理解し取り組んでいる。利用者と共に、職員も楽しい気持ちで日々送ることを特に大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の商店を利用し日々の食料品他必需品の購入を行っています。近隣の店のイベントの際にはホームの敷地を駐車場として提供する等交流を図っています	ホームに必要な物は、近隣の店や農家で購入をしている。地域の方々と触れ合う機会が多く、草刈りや花壇の手入れなどボランティアとして協力を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	誰でも気軽に訪ねてきて頂けるように努めています。ご相談や見学等はいつでもお受けできる旨を民生委員の方々にお伝えし地域人達にもお話しして下さる様をお願いしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に利用者様と職員の行動・生活状況ホーム取り組み状況の報告を行い質問等について意見交換を行い参考にさせてもらいながらサービスの向上に努めています	コロナ禍のため書面にてホームの状況を報告している。報告先は以前参加されていた行政、地域の包括支援センター、町内会長、民生委員、利用者、地域住民である。活動状況、利用状況と事故報告は詳細に行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に町内会長や近隣者・各組の民生委員さん達に参加して頂き利用者様がたに対する取り組みやサービス内容を伝え災害時に対する協力の申し出や協力を仰ぐお願いをしています。	ホームに介護相談員が訪問し相談を受けている。また介護認定更新の調査時に、利用者の日常の暮らしぶりを伝え連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について確認し3ヶ月毎に委員会を開催し課題・目標を決め取り組み評価を行っています	身体拘束廃止委員会を定期的実施している。夜間センサーは3名が使用している。玄関の鍵は利用者を見守りながら、常時開けている。委員会で取り組み方法を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様に虐待について確認し3ヶ月毎に委員会を開催し課題取り決め取り組み評価を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中で数名が成年後見人制度を利用して いるので制度について理解できるように研修を 設け 学ぶ機会を作っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約前見学時口頭にて説明し契約時には改め て 詳しく説明しています。疑問点に関してはいつ でも承るようにお伝えしご理解とご納得を図る よう に努め て いま す		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	プラン説明は面談にて行いご家族からの意見要 望 を承るようになっています。 面会時には職員に気軽に声をかけて頂けるよう な雰囲気作りを心掛けています。	3か月毎のケアプラン更新時での面談や、 シェリー通信で意見を伺っている。ご家族か らは、コロナ禍のため入居者の体調を気づ かうことが多い。	面談時要望を聞いているが、運営推 進会議が開催されず、また家族会も 活動されていないため意見交換が行 われていない。アンケートなどで一人 ひとりに意見や要望を聞くことを期待 したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	出勤・退社時には声掛けをし気軽に話しかけら れる雰囲気づくりに努めています。事務所の扉 をオープン にしいつでも意見や提案を伝える事が出来る様 に 努めています。現場の声を聴き反映するように 努めています	年1回管理者は、職員が記入したシートを元 に面談を実施している。さらに職員が意見を 言いやすい雰囲気を、作るようになっている。 職員からは休暇、休憩時間はとれていると の意見が出ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりが向上心を持ちやりがいのいあ る 職場作りを心掛けています。職員同士がお互い 良い所を認め合い相乗効果により良い職場環 境が築ける様に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	毎月カンファレンスにて認知症研修を実施し認 知症状の再確認の内部研修を行い外部研修参 加への 意欲を促し意識向上を目指す様にしています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	市開催のグループホーム連絡会への参加地域 の介護支援専門員連絡会への会議に参加し交 流を 図る様にしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネや本人家族から話をきいて生活歴を把握しようとしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から生活状況を聞きできるだけ生活スタイルを崩さないようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	空室がない時は一時的に別の施設がある事を伝えている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事の参加(食器拭き洗濯たたみ等)をお願いしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状況報告書を毎月家族に送り様子を知る事が出来るようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	最近ではコロナの関係で外部とのかわりが難しいが制限を設けてご家族には面会に来て頂いている	コロナ禍のため外出が困難であるが、地域でのフリーマーケットを楽しみにしている。ご家族との面会は予約制で時間制限を行い実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないよう間に入って仲立ちしたり席の配置を変えたりしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご家族が時々寄っていらなくなった家具や衣類など寄付して下さった お知り合いを紹介して下さる事もあった		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のおしゃべりの中から施設内で出来る事を職員間で話し合いをしている	日々のかかわりの中で、話を聞き確認をしている。「息子が選んでくれたホームだから満足しているよ」と利用者の言葉や表情から思いを汲み取り、把握しながら常にご家族と検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の今までの生活の中で楽しかった事さみしかった事など施設内で話して頂き共感し合い 思いを尊重している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人のその日の状態を把握し今後に繋がれるよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月に1回見直しをして現状にあった計画を作成している	利用者の情報シートで、担当者が困っている問題、解決方法などをまとめている。計画作成者は担当者の意見を参考に、モニタリングさらに計画を作成して職員ミーティング時に話し合いをし共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンス前までに気づきやアイデアを書く用紙があり介護計画の見直しに利用している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様に対して柔軟な支援が出来るように心掛けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	全てやって差しあげるのではなくご本人様の意向を聞きながら出来るだけ外出支援などを取り入れ地域と接触出来る様安全面も苦慮しサポートしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際に適切な相談ができるよう日々介護士、ケアマネ、ホーム長の間で情報を共有している	入居者全員事業所の協力医をかかりつけ医としている。日中の緊急時はかかりつけ医に受診する。事業所契約の訪問看護は電話での対応をしている。皮膚科、歯科、眼科、整形外科は家族が同行し受診している。家族が都合が悪い時は職員が同行し日常の様子や変化を伝えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小さな変化にも気づき看護師にすぐに報告し指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	いつでも戻ってきて頂けるよう病院での様子をこまめに聞き直ぐに状態に合わせた適切な介護ができるようにしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人またはご家族様の意向に沿った介護方針をとらせて頂いています。また介護士の間で統一した介護が出来る様日々の話し合いをしています。	重度化した場合はご家族の希望を聞き取り、意志確認をして記録している。職員間で共有していることは、食事の変化を重要視してご家族へ報告すること。医療処置はホームでは行わない。今まで老衰で最後を看取っている方が何人かいる。看取り介護中は職員と話し合いをしメンタル面を支援し、常に「みとり小会議」を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急マニュアルをよく読み直ぐにホーム長や看護師にも連絡できるようにしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行いいざという時あわて過ぎず実践できるようにしている	年2回6月と11月に訓練を実施している。コロナ禍のため地域の防災訓練への参加はしていない。非常用食料などは備蓄している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者が家族に大切にされている事今まで立派に生活してきた事を誇りに思ってもらえるようにしている 入居してくれて良かったと伝えている	利用者の気持ちを大切に、自己決定しやすい言葉かけをしている。特に排泄と入浴については、プライバシーの確保を徹底している。職員間の会話でも個人情報を守ることにも努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行きたいところややってみたいこと食べたい物を聞く様にしている「帰りたい」願望にはなかなか答えられていない		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく日中は居間にいて頂き利用者同士話をして頂くようにしている。レクや体操を提供している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感のある服選び心掛けている。半袖は皮下出血してしまうことが多いので上着をはおるようにしている。ご自分で選べる方には選んで頂いている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑があるので草取り収穫を手伝って頂いている。食べたい物を聞いてメニューに反映させている。片付け台拭き食器拭きを手伝って頂いている	その日に食べたいメニューを聞いて準備をしているため、計画的な献立表は作成していない。また栄養委員会がメニューの評価をしている。茶碗・箸・湯呑みは利用者各自で用意している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量が分かるように統一された用紙に記入している。好みの飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来ない方には職員が口腔ケアを行っている。自立の方は声掛けをして行っている。つまようじをほしがる方には後処理を確実に確認しお渡ししている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンに沿って時間でチェックしたり声掛けするようにした	自立者6名、リハビリパンツ使用12名、トイレで座ることを基本として誘導支援している。トイレでの排泄を大切にしながら紙パンツ、パット類も利用者に合わせて検討している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や食物繊維の入っている食事にしたり歩行ができる場合には運動を促す様に努めた		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は1対1になるのでリラックスして入って頂けるように声掛けしコミュニケーションをとりながら楽しい時間を過ごしてもらるようにした	週2回午後入浴をしている。入浴時職員と話す内容に利用者の本音があるので、一人ひとりに合わせた支援をしている。拒否をする利用者には、担当職員を変えたり、ゆず湯などの入浴剤を使用したり工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋の温度や明るさなど一人一人に合った環境にし安心して休めるようにした		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の増減時には申し送りをノートと口頭で確実に伝えている 新しい薬を飲み始める時は体調の変化に気を配るように気をつけた		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	どんな生活を送ってきたのか日々の会話で知るようにして家事を手伝ってもらったり運動をしたり好きな歌を聞いたりして支援するように努めた		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は外出が出来ない状況なので今まで行った事のある場所の話をしたりそこでの楽しかった思い出を聞いたりした	コロナ禍のため、買い物や桜・菊・コスモスなどお花見に出掛けることが出来ていない。現在は毎日ホームの庭を散歩したり、近隣の港にドライブを兼ね、車中から船を見に出掛けている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お一人のみ手元に小遣いを持ちたいという方がいらっしゃるのでご家族と話し合いながら使いきったら持って来て頂くようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書きたいとの希望があれば書いて郵送したりなかなか面会に來れないご家族からの手紙を送って頂いたり電話も同じく気軽にしたりもったり出来るような雰囲気になっている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレ浴室廊下は安全に考慮し整理整頓に心掛け必要最低限の物品のみを置く 玄関は気持ちよくお客様をお出迎え出来るよう毎日掃除し清潔にする 居間は季節感を感じれるよう入居者様と共同で掲示物を張り替える 台所は除菌に心掛け清潔にする	利用者と共に作成した、春夏秋冬の手づくり掲示物を工夫して装飾し楽しんでいる。今は大きなクリスマスツリーの作成をしている。ホームでの行事の写真を掲示している。清潔を心掛け室温にも配慮して居心地のよい場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室に行っても居間に来てもすぐに自由にくつろげるよう椅子やソファを設置している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際すべて新しくしないで家で使用している家具を持って来て頂けるようにお話をさせてもらっている	ダンス、ラジオ、CDや仏壇など家族と準備して使用している。趣味である大正琴や、お気に入りの洋服などを持ち込み、居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や脱衣所浴室内には固定の手すりや取り外しのできる手すりを設置している 体調によって歩行器を使用したりシルバーカー車椅子を使用し安全に自由に行き来が出来る様見守っている		

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291100184		
法人名	(株)ケアクオリティ		
事業所名	グループホーム シェリー		
所在地	静岡県焼津市上新田856-1		
自己評価作成日	令和3年 9 月 7 日	評価結果市町村受理日	令和3年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人静岡県介護福祉士会
所在地	静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
訪問調査日	令和3年 11 月 17 日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々に合った個別支援を提供できるように努めています。利用者様の持っている力を引出し活用できる自立支援にも心掛けています。食事についても利用者様一人一人に見合った形態での対応を行い出来たての温かいお食事を提供しております。ホーム独自の畑もあり採りたての野菜を使った料理や利用者様のお好みを確認してその日のメニューを考えお出しする事もあります。ご家族とのコミュニケーションを大切に電話や毎月の状況報告書の郵送など連絡がとれる様に努めています。ご家族が気軽に職員に話し掛けられるような雰囲気づくりに心掛けています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)
---------------------------------

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の経営理念とホームの運営理念・目標を朝の申し送りや日々復唱する事により共有し実践に繋げるようにしています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の商店を利用し日々の食料品他必需品の購入を行っています。近隣の店のイベントの際にはホームの敷地を駐車場として提供する等交流を図っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	誰でも気軽に訪ねてきて頂けるように努めています。ご相談や見学等はいつでもお受けできる旨を民生委員の方々にお伝えし地域人達にもお話しして下さる様をお願いしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に利用者様と職員の行動・生活状況ホーム 取り組み状況の報告を行い質問等について意見交換 を行い参考にさせてもらいながらサービスの向上に努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に町内会長や近隣者・各組の民生委員さん達に参加して頂き利用者様がたに対する取り組みやサービス内容を伝え災害時に対する協力の申し出や協力を仰ぐお願いをしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について確認し3ヵ月毎に委員会を開催し課題・目標を決め取り組み評価を行っています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様に虐待について確認し3ヵ月毎に委員会を開催し課題取り決め取り組み評価を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中で数名が成年後見人制度を利用して いるので制度について理解できるように研修を 設け 学ぶ機会を作っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約前見学時口頭にて説明し契約時には改め て 詳しく説明しています。疑問点に関してはいつ でも承るようにお伝えしご理解とご納得を図る よう に努め て いま す		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	プラン説明は面談にて行いご家族からの意見要 望 を承るようになっています。 面会時には職員に気軽に声をかけて頂けるよう な雰囲気作りを心掛けています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	出勤・退社時には声掛けをし気軽に話しかけら れる雰囲気づくりに努めています。事務所の扉 をオープン にしいつでも意見や提案を伝える事が出来る様 に 努めています。現場の声を聴き反映するように 努めています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりが向上心を持ちやりがいのいあ る 職場作りを心掛けています。職員同士がお互い 良い所を認め合い相乗効果により良い職場環 境が築ける様に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	毎月カンファレンスにて認知症研修を実施し認 知症状の再確認の内部研修を行い外部研修参 加への 意欲を促し意識向上を目指す様にしています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	市開催のグループホーム連絡会への参加地域 の介護支援専門員連絡会への会議に参加し交 流を 図る様にしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホームを見学して様子を見て頂いている ご本人の要望など細かくお聞きしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームの見学時困っている事などの相談をして頂いている。要望などもしっかり聞きしご家族の気持ちを大切にしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族からお話を伺い今までと変わらない生活を送れるよう支援している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分で出来る事が減っていかない様生活していく上で役割をもって頂いている。生きがいを感じる様支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には毎月お便りを出し日頃の様子をお伝えしている。変わった様子があれば連絡を入れて家人の要望をお聞きしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ緊急事態宣言が発令されてしまい面会が自由に出来ず残念です		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で過ごす居間では利用者様の個性を大切にしながら楽しく生活出来る様に心掛けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらからの連絡等を行っていないのでこれからイベントなどが出来る様にねれば通知できればと考えています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いを汲み取り今出来る事やりたい事を考え取り組んでいる 困難な方は会話を楽しむ		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話を楽しみ一人一人の生活歴好きな事等を把握する事に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の健康状態等を把握している。 訴えに対し傾聴している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月カンファレンスにて職員の意見を聞きケアプランに反映させている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、ごきげんいかが排便表等に記入し気が付いた事は申し送りで話し合ったりカンファレンスで話し合いをし介護計画を見直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望を常に聞く様に心掛けご家族にも小さな事でもなんでも要望や意見があればいつでも言って下さいと伝えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のお茶屋さんからお茶を購入したり床屋さん 2か月に1回髪を切ってもらったりお米を購入配達してもらっている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人ご家族様の意見を聞き主治医連携を図り適切な医療を受けられるよう支援を行っている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の様子観察を行い週1回の訪問看護師に情報を伝え相談している。状態に変化があった場合は看護師の指示のもと受診対応し適切に支援を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との密な連携情報交換や相談をし安心して治療が出来るようにしています。退院し早くホームに戻れるよう支援を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期にはご家族様とお話ししホームで出来る事を伝え方針を共有できるようにしている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスのたびに研修やを行っている。最近ではパソコンをつかった研修も多く行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震、火災の避難訓練など定期的に行い消防署とも連携して訓練を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様個人の思いを組んでその方に合った声掛けや会話を心掛けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コロナ禍ではあるが利用者様の希望にそうように心掛けている(外の散歩・室内レク・家事手伝い等)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様に合った出来る事利用者様が出来る事を毎日少しずつ取り組んで頂き1つの事を完成させて頂いた		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった服装、色、デザイン、利用者様の好みにあわせ、清潔感をもち生活していた		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスを考え色彩、食事量、利用者様に配慮しながら提供している。利用者様が出来る範囲で片付けをして頂く		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様一人一人に合った食事量、季節に合った食材で栄養のバランスを考え楽しんで頂く。食事に合わせ水分補給も習慣にしてい		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、昼、夕の食事後利用者様一人一人に見合った口腔ケアの介助をおこなっている。自立で口腔ケアをされた方にも状況をみながら仕上げを行い確認している		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は定期的に声掛け誘導してトイレでの排泄に心掛けパッド使用量の軽減に努めている。夜間は声掛けトイレ誘導可能な利用者様にはトイレでの排泄又トイレを使用し自立に心掛けている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝起きがけの水分摂取やヨーグルトにて排泄を促すようにしています。排便チェック表に基づき利用者様毎に服薬調整を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人に時間帯等の気持ちを聞いて楽しく気持ちよく入浴出来るように心掛けている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日一人一人に話しを聞いたり身体の調子を聞いたりしながら体調に合わせた休息をとってもらうようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員のみが直ぐにわかるように表を掲示している カンファレンスや申し送り薬について話し合っている。事故報告が出た場合は改善策をその都度		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事は嗜好品を確認、個人の好みにより食事内容を変えたりパン食、ミキサー食として利用者にあわせて提供している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望により外食支援を行っている利用者様がいる。 ドライブレクも季節ごとに考えながら行っている 車椅子の利用者様には敷地内の散歩をして畑や花を見てもらいながら日光浴をし気分転換をしてもらっています。運動の為に自由に散歩される人もいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	立替金にて対応しています。利用者様がお金を持っていて職員と買い物に行ったり頼まれて買って来たりしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を毎年親に出している利用者様がいる。電話は希望があればいつでもかける事ができるようにしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日掃除や手すりの消毒自室の整理整頓を行い居間には季節にあった展示をレクリエーションで作成している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の席の他にソファーやいすをコーナー等に置いてテレビを見たり音楽を聞けるようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室のタンスの外側には利用者様がわかる様何が入っているかを記載している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立で生活できる利用者様は出来る事は見守りでやって頂く。車椅子の利用者様は一部介助で行う		